



Challenge Everything

～ 持続可能で心豊かな未来への貢献 ～

第1回

男女共同参画オンラインセミナー&茶話会

～YEG WOMEN'S エンパワーメント プログラム～

2023.9.25開催

ーリポーター
茶話会女性グループ



セミナー

講師：一般社団法人 HAPPY WOMAN 代表理事 小川孔一 氏

テーマ：「女性のエンパワーメント」

日本の教育で自ずと女性らしくとか、目立たないように、女性はナンバー2でよいという事は叩き込まれている気がします。

はじめて聞くことが多く、言葉の意味を調べながら聞いていた。

才能や力を気付いてなく、使っていないと思う。男女とも眠っている力が呼び覚まされ本来の自分で生きられたとして、女性の社会進出や管理職の割合が増えるに繋がるかは疑問

さまざまな数字を見せていただいて勉強になった。変わり始めている企業や地域は、女性に合わせて社会システムを変えてきている。所属しているYEGは、なかなか女性の参加者が増えず、また参加しにくい環境になっているように思う。まずは身近なところから取り組んでいきたい。

ハッピーウーマンの小川さんの話が知識として面白かった（女性脳・男性脳）

カタカナの用語が難しい。耳なじみがない言葉が多かった。

一感想一

「眠っている力を呼び覚ます」
という言葉が心に響いた

アンコンシャスバイアスの話があった。実際に生活する中で差別されている、見下されていると感じることは少ないが、**男性優位の社会でつくられたシステム**の中で生きにくさを感じているところはあるのではないかなと思う。

男性脳・女性脳を一度指で調べたら、全員の女性が男性脳だった。YEG参加する女性は、男性脳が多いのかな・・・と感じた。

テーマが壮大すぎると、身近に変換するのが難しい。身近なところからの取り組みの方が1つ1つに組みやすい気がする。11月の事業をまとめる際に「アンコンシャスバイアス」の言葉の定義もよく分かってないところもあって、テーマが壮大すぎると、そういうのは有名企業のトップの人たちが取り組むような、大きなテーマのような気がして、地域の一企業からすると手に持て余すようなイメージがある。それが他人事になりがち気がする。**身近なテーマから取り組んでいく**方が一個人に話を落としやすいと感じた。

衝撃だったのが、2040年に896の自治体で、**若年女性半減、消滅**の可能性。

自己肯定感が高まり女性リーダーが増えて、政治経済の部分でのジェンダーギャップが埋まるかは疑問

「インボスター症候群」自信がない、自己肯定感が低い女性が多いことに、自分だけでないんだと驚いた。

単会会議においては女性の出席率が自身1人ということもざらである。

75名の単会で女性は15%くらい。出向・役職女性も関係なく後押ししてくれる環境はある。

20代の若い女性は、**YEGの男性社会**についていけない事もある様子。

共存共有という文化は、いまはあまり感じないが、**若い子たち20代の方々は勢いのある男性社会に驚くことも多いので**、配慮をしてあげる環境づくりをしてあげたい。

YEG歴も長く、若い頃入った時はパワハラもセクハラもあり、なんとかのりくらしとかわしてたが、**当時はすごく嫌だった**。男性ばかりで女性がなかなかいなかったの、相談もなかなかできなかった。

女性会員はいまだ非常に少ない。女性部会はあるが、とても少ない。

困りごとは大きくないが、女性が少ないとトイレに行きにくいなど見えにくい不便はあるかもしれない。しかし、男性も配慮をしてくれているのを感じ、**歩み寄りが存在している**。

子供が小学校低学年の間は出れなかった。

女性が活躍するためには、男性の意識が変わらないという中で単会の男性とかと話をしても男性がした方が早い、女はブツブツ言うみたいなことを言われたことがある。

女性会員を中心に、自治体と共に女性から告白又はプロポーズしたくなる婚活事業を10月に行う。**男女それぞれの目線を合わせた事業**。

女性部会は、はじめは女性のみで実行していた。しかし、男性の意見も必要、男性の意見や取りくみにも参画してもらうようになった。**女性のみ、男性のみというのはやめて共存を目指す**。

フリートークご意見集

昼間など、**出たい方の時間に合わせて出来る体制**や、周りの配慮もあると嬉しい。

夜の委員会の**子供連れOK**を行っている地域もある。

ハラスメントに関しては、正直あると思う。だた、かわせることはかわしたり、**女性同士で支えあう・フォローしあう環境がある**。女性会長がその環境をつくってくれている。壁になっている。

泊りの活動など、**行きたいけど家庭のことがあるので行けない**。

夜の飲食店の方など、活動しにくいので、**昼間や夕方**の時間もあれば参加しやすい。

YEGに関すること

女性活躍推進委員会、まだ手探りではあるが、まずは単会で男女参画にもう一度焦点を当て、向き合い考えるきっかけになりたい。

女性会にも、地域の婦人会にも所属している。地域の婦人会は男性に負けない発言力や強さがあるように感じる一方、経済側はやはり難しいなど思うことがある。組織の違いを感じるとともに、さっき出ていた数字（経済と政治に女性進出が進んでいない）はたしかにそうだなという実感がある。**男性と女性の生き方や文化のバランスがとれた社会**になるといいと思う。

男女差以前の問題で許してはならないのと、そのような事は無いように注意していきたい。

アンコンシャスバイアスってというのがまだ残っているという事が今日すごく理解できたので、これを単会で共有して、少しでも良くしていきたい。

グループ内の各単会において、女性比率が約1割。

女性会員が増えている。女性男性という区別はなく、運営をしている。

昼の飲食店部会を立ち上げて活動している地域もある

会議後の交流会にて、お酒が入った男性の変わり方に、ついていけない女性会員・若い世代の会員が出席しなくなってしまったこともあった。会議の場とのギャップ。on・offの切り替えなのだが、その辺りには**世代間のギャップ**も大きく関係しているように感じる。

自身がリーダーになった時は、組織と後輩を引っ張り抜く力がたりなかったと認識している。

子どもや家庭を優先するために、YEGの飲み会への参加を控えたことがあった。そうすると「やっぱり女だから」と言われたりした。一人一人に丁寧にLINEするなどして乗り越えたが、**本当は男性でも女性でも家庭は大事**。リーダーになるためのネックだと感じた。

男勝りな女性が圧倒的に多く、特段困りごとはないが、男性のDV発言はあった。これは真摯に取り組んでいきたい。

夜の委員会で夜ご飯を子供とみんなと一緒に食べるをやってみたい。

フリートークご意見集

(たまたま職場に女性の多い職種が集まったグループだったこともあり) 女性従業員が自分達の後ろ姿をみて、ついて来てくれている環境にいることの有難さ。子育て世代の女性をはじめ、お互いが働きやすい環境作りを**トップから作り上げていきたいという思い**が職場にも広がってきている。

子育てはやはり社会進出のネック。**男性でも休みやすい、一緒に子育てする環境**になるといいと思う。

仕事・職場に関すること

立ち上げた施設の職員が初めは全員女性だった。ある日深夜、深夜の夜間、夜間勤務してくれている職員、看護師の女の子がストーカーにあい、やっぱり男性がいないと、女性の施設という事でなめられたんだという経験。

男性育休の助成金を活用して、残されたスタッフに特別手当の支給し、育休しやすい環境を作っている

産休は取れるが、育休が取りづらかったが、時代とともに取りやすくなってきた

会社起こしたが、何できんの？っていう感じで、**周りからのジェンダーギャップは毎日感じている。**

仕事に穴があけにくい時（キャリアがある人）は、**仕事やキャリアを止めたくない**ので産休だけが多い

女性は時短で働きたい方が多い

能力・考え方は男女差はある。別々であることを理解して、**共存・共有が必要**であると考え活動している。

自身も男女のバイアスを捨てきれないが、捨てきれないことに囚われすぎず、新たな自分を作り上げていくことが大切ではないか。

経済と政治が変わらないと、一般の企業や一般の人が意識を改革したとしても、根本的な部分は解決されない。

女性が参加しやすい環境を、という話をすると、過剰に反応されてしまうことがある。思い込みなのか、反発なのか、意図しないところに着地してしまうことがある。そういう環境も、**自己肯定感を下げたまま要因**であるように感じる

働きやすい環境作るには女性自身が変わるべきじゃないか。

日本がなぜ女性活躍推進が進んでないのかっていうところと、少子高齢化なのかっていうところをひっくりめると、**金銭的問題が解決されないといけないんじゃないか。**

男女平等っていうのは、お互いがお互いを尊重し合うことがないと、絶対平等にはならないと思っている。その身体的特徴とか、絶対得意なことはお互い違うので、**お互いがお互いのことを尊重し合って行かないと**、男女平等っていうのは絶対無理だと思う。

国が変われば女性の考え方も変わるんじゃないか。

女性は守られてるとか働かなくてもいいとか、ある程度働いておけばいいレベルで、**上を目指したりとかする人が少ない**と思う。

改めて自己肯定感が低いお話が印象的。自信がない、私にはできないとか、最初にネガティブな部分が出てくる。それは1人で抱えなくていいんだよっていうことを、男女関係なく、意識して話している。これは日本の社会構造がそうだっただけ。1回立ち替えていう意識を持って、**問題は社会構造にあったんだっていう認識**

フリートークご意見集

地域性で**アンコンシャスバイアス**は、在ると感じる。女性は家庭にいるべき、夫がメインで女性は社会に出にくい。控えめ。

女性活躍推進という部分でいくと、個人の家庭の話考えた時に、**家庭の財政・お金が潤ってたらどうとでもできるんじゃないか**と思う。

男女共同参画・女性活躍に関すること

平等ってみんなが同じことをやれたりという事が平等なのかという疑問。言葉の定義というか共通の認識にしないで、その後の話が進んでいくと、**ズレが出てくる**。

ここまでは自身の力でできるけど、ここから先は、やはり男の人の力を借りたいうところが出てきたりする。単純に、体の生理的な作りみたいなものもそうだし、男らしさ、女らしさって、だから今もこの時代、本当に偏見な言葉になると思うのでた易く使えない。改めてそういう事だと思う。

男性だけではなく、今後は**女性の意識改革も大事だ**。

働く企業に、だんだん自分の居場所がなくなってくるというのは、自分の考え方も影響するんじゃないのか。

少子化とかいう話があるが日本は税金が高すぎる。

税金の高いヨーロッパや北欧のはサービスを充実させてる。**日本は中途半端。税金の有効活用ができていない**。

アンコンシャス・バイアスの存在を把握していないと**適切な意思決定ができない可能性**があり、存在に気づき、向き合うことが重要ではないか。

教育の面では自己肯定感高をめつつ、**人と人が日本的、日本人的な良さを残した状態でもっと輝ければいい**。

男女共同参画に対する考え方は20年間変わっていない。これから国際社会に受け入れられていくためにも、どんなふうに変っていくのか、決めて、行動しないといけない。**ジェンダーの考え方を極端にとらえてしまうことなく**、男性と女性の背景と文化は異なるということを前提に双方を尊重できる社会になったらいいと思う。

アンコンシャスバイアスは誰もが持ち合わせているため、そのものが良い、悪いということでないと思う。

フリートークご意見集

フリートークが盛り上がってしまいあっという間に時間がきてしまった。

女性だけだから話せる話があった

もっと深掘りした話をしてみたい。

単会においてこれほどまでに同性の会員と話をする機会がなかったので本日はとても新鮮だった。

その他ご意見

女性一人の単会 移住で住むことになった。何もわからないので今回良い機会であると思い参加。女性会員を増やしていきたい。

時間が足りないくらいに皆さんのお仕事に関しての内容などで盛り上がりました。

フリートークでは、美と健康についてや趣味について話しました。

わたしたちのような立場の人が、懸け橋になっていたらいい